

レベル	科目名	担当者	曜日時限	教室	目標	内容	テキスト	成績評価法
3	日本語3総合A1	荒井 直美 (あらい なおみ)	木曜・1限	N401	初級後半から中級の文法や言葉を覚えて、それを使えるようになる。	日本語の中級の文法(ぶんぼう)や言葉(ことば)をおぼえて、使えるようになるように、いろいろな練習(れんしゅう)をします。毎回(まいかい)、教科書(きょうかしょ)を読んで、予習(よしゅう)をしてきてください。かならず日本語3総合「A1」と「A2」両方(りょうほう)の授業(じゅぎょう)に出てください。	平井悦子・三輪さち子『中級を学ぼう 日本語の文型と表現56 中級前期 第2版』スリーエーネットワーク	授業参加度(出席・授業態度)40%、宿題20%、テスト40%
	日本語3総合A2	荒井 直美 (あらい なおみ)	木曜・2限	N401	初級後半から中級の文法や言葉を覚えて、それを使えるようになる。	このクラスの目標は、中級の文法や言葉(ことば)を使って、自分の考えていることを日本語で表現(ひょうげん)できるようになることです。読んだり、聞いたりしたことを、書いたり、話したりできるように、毎回(まいかい)いろいろな練習(れんしゅう)をします。かならず日本語3総合「A1」と「A2」の両方(りょうほう)の授業(じゅぎょう)に出てください。	平井悦子・三輪さち子『中級を学ぼう 日本語の文型と表現56 中級前期 第2版』スリーエーネットワーク	授業参加度(出席・授業態度)40%、宿題20%、テスト40%
	日本語3会話A	石崎 晶子 (いしざき あきこ)	火曜・2限	N305	具体的なことが説明できるようになる。具体的な談話が理解できるようになる。	伝わりやすい(つたわりやすい)話し方を学ぶために、次のような活動を行います。 ・毎回発音(はつおん)の練習をします。 ・読んだ文章の内容を他の人(ほかのひと)に説明(せつめい)します。 ・説明が十分理解(りかい)できなかった時は、聞き返し(ききかえし)したり、確認(かくにん)したりしましょう。 ・トピックに関する短いスピーチをします。 ・スピーチを聞いて、感じた(かんじた)こと、思ったことを話しましょう。 スピーチは身近(みぢか)な内容(ないよう)で、クラスメートにわかりやすく話すことに重きを置きます。 グループで意見交換(いけんこうかん)を行います。	プリントを配布します。	授業参加度 50%、スピーチ25%、クイズ 25%
	日本語3講読B	江口 典子 (えぐち のりこ)	金曜・2限	N403	日常的で長くない文章が読めるようになる。	エッセイや新聞記事(しんぶんきじ)、物語(ものがたり)など様々な文章を読む力、また社会的なテーマについて自分で考えていく力を身につけることを目標(もくひょう)としています。授業では読むことを中心に、話すこともします。	プリント配布。	授業参加度(出席・授業態度)40%、課題(提出・内容)50%、小テスト10%
	日本語3作文A	稲田 直子 (いなだ なおこ)	水曜・2限	N305	具体的で、ある程度まとまりのある文章が書けるようになる。	日本語で文章(ぶんしょう)を書くときのルールや、文章を書くときに使う文法を勉強(べんきょう)します。作文を書いたら、クラスメートと読み合っ(あ)って質問(しつもん)したり、アドバイスをしたりします。授業では、簡単(かんたん)なメールの書きかたや説明(せつめい)文の書きかた、意見文の書きかたなどを勉強(べんきょう)します。宿題はパソコンでします。	プリントを配ります。	授業(じゅぎょう)参加度(さんかど)30%・課題(かだい)提出(ていしゅつ)30%・クイズ20%・最終(さいしゅう)課題(かだい)20%

3

日本語3文法A	李 琦 (り き)	月曜・2限	N305	中級前半の文法項目を習得する。	初級の文法を復習しながら、それを中級の文法へとつなげていく。特に、まちがえやすい表現の使い方を理解し、使えるようにする。	プリントを配ります。	授業参加度(じゅぎょうさんかど) 50%、小テスト・テスト 50%
日本語3漢字A	伊能 裕晃 (いのう ひろあき)	火曜・1限	N305	基本(きほん)漢字400~500を学ぶ。	漢字の形(かたち)から意味(いみ)を考えて、漢字の勉強をします。漢字の書き方、読み方を覚えてから、漢字の言葉を使う練習をします。毎回、小テストをします。	鈴木英子ほか『どんどんつながらる漢字練習帳 中級』アルク	授業参加度(じゅぎょうさんかど) 40%、課題(かだい) 20%、小テスト20%・テスト 20%
日本語3聴解A	江口 典子 (えぐち のりこ)	月曜・1限	N305	日常的で具体的な談話が理解できるようになる。	聴解(ちょうかい)を中心に、話すこともします。日常生活の場面において聞いたことを伝える、話している人との関係やトピックについて感じたことを話します。ロールプレイ、語彙や表現の小テストをします。	プリント配布	授業参加度(出席・授業態度) 40%、課題(提出・内容) 40%、期末テスト 20%
日本語3特別演習A [メディアで学ぶ日本語]	許 夏玲 (ふい はーりん)	金曜・1限	N313	初級後半から中級の日本語のスキル(話す、聞く、読む、書く)が使えるようになる。	授業で使うメディアとは、絵本(えほん)、マンガのような図書(としょ)、歌、アニメなどのことです。授業では、これらのメディアをとおして、ピア活動やグループ活動によるプレゼンテーション、書評(しょひょう)ゲームも予定しています。日常のよく使う日本語を楽しく学ぶことを目的(もくてき)としています。	プリント配布	授業への出席(しゅっせき)・授業態度(たいど) 50%、課題(かだい)・発表(はっぴょう) 50%
日本語2/3特別演習A [多読]	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	金曜・3限	N313	「多読TADOKU」の特徴を理解し、実践することで、日本語をより母語に近い使い方ができるように目指す。	「勉強するモード」から「自分のことばとして使うモード」への切り替えができるように目指す。 ①単語の意味や文法を気にしないで、「書かれている内容」について自分の中で対話できるように読む。 ②同じ場面でも、一人一人の理解が多様であることが実感できるよう、読み物などを通した対話のワークを行う。 ③学期末プロジェクト「発表」:「勉強するモード」と「自分のことばとして使うモード」のちがいについて、自由に発表する(ストーリー・動画・ゲーム・音楽・絵などの創作・今学期の取り組みへの感想・読み物紹介など、なんでもよい)	教室に読みものを設置 オンライン読み物	読書記録の提出 40%、平常時の多読への取り組み 30%、学期末プロジェクト 30%